

談話室

投稿をお待ちしています。この「市民談話室」は、市民の皆さんの意見交換の場です。テーマは自由です。あなたがふだん思っていることをお書きになって気軽にお寄せください。紙面の都合上、文を短くすることがあります。あて先は、〒九五〇一―二 白根市大字白根二―三五 白根市役所企画財政課広報係です。



広い土地と熱、放流水 利用すれば白根名所、夢の島

青木きよ子さん（大通二丁目・主婦・59歳）

清潔で快適な環境の下で生活することは、地域住民の願いです。また、生活に身近な廃棄物の処理は、豊かな衣食住に恵まれない毎日の暮らしにいちばん関心のあることだと思います。私たちが有志二十六人は社会見学のため、マイクロバスで白根衛生センターを訪ねた。



60年度に完成した新し尿処理場と管理棟

近代的な尿・ごみ処理場についての責任者の説明や、ストライドを使って脱臭などさまざまな処理できれいにしていく工程

一応の理解は得たと思います。でも私は、あのばく大な焼却炉の熱エネルギー、砂ろ過処理されたきれいな放流水の再利用ができないものなのか、もったいない宝物を金をかけて捨てているような錯覚さえします。



障害児に出会って学んだ 素直な気持ちで接する心

小林由紀子さん（西笠巻新田一丁目・学生・21歳）

私は現在、大学で障害児教育を学んでいます。別に、最初から障害児教育をやろうと思っただけでなく、学んでいくうちに、私もこの子たちの成長の手助けができればなあと思うようになりました。



自分の周りから地域へと あいさつの輪を広げよう

鈴木民治さん（五六ノ町四丁目・教員・51歳）

朝の出勤時、「おはようございます」の一声は、一日の生活を快適なものにしてくれます。



「顔は心」 人生の年輪は顔に表れる

吉田すみ子さん（下鴨ノ木二丁目・会社員・39歳）

人生を送るには「顔に縦じわより横じわを作ることだ」という話を聞いたことがあります。



老後を明るく生きるため 俳句会に参加して

柳瀬ミツ子さん（下道湯・農業・69歳）

昨年一月、友人に誘われておそろのおそろ「白根健康俳句会」に加えてもらいました。

です。大勢の人と交わって気づいた、大切にしていきたいあいつの条件を述べてみます。①はつきりした声で、心を込めてあいさつをする。さわやかではつきりした適度な大きさの声は、あいさつを受けた人に快い響きを与え、お互いに心の通じるものが生まれるでしょう。

知人で、すばらしい顔をした人がいます。顔年輪です。その人には二人の息子さんが出て、「息子が二人とも結婚し、娘が二人もできました。ほんとうによい娘たちに恵まれて幸せです。同居していましたが、転勤で遠

が出来るよう願っています。そして、一人でも多くの友達

やはりすばらしい両親に育てられたからでしょう。ゆとりという言葉のあてはまらない毎日の生活パターンの繰り返しで、子供たちにも気の毒なことをしたと、後悔することもしばしばあります。

グループ紹介

フライデーミント

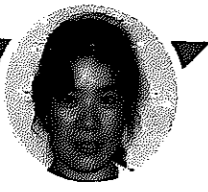
(バドミントンクラブ)



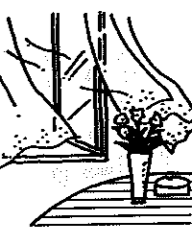
今年の1月から市のスポーツ教室(バドミントン)が、大通小学校区を対象に開かれました。10回にわたる教室もこのほど終了し、そのまま受講者たちで結成されたのが、このクラブです。

活動は毎週金曜日の午後7時30分から10時まで、大通小学校で行われています。部員は30歳代前半の男性7人、女性13人の計20人で、大通のほか白根など他地区からも入部しています。

部長の声 上市昭子さん (下塩俵)



前からバドミントンをやりたいと思っていたんですが、地元にはクラブがなく、バスで白根に通うのも大変なのであきらめていました。でも、今回のスポーツ教室のことで知り、早速、友達を誘って参加しました。もっと部員を増やしたいし、うまい人に入ってもらい、指導してもらえたらと思っています。



市民文芸

俳句

数珠の手を休めて今日は新作り 玉木 長吉

願いこめはしやぐ親子七夕かな 栗賀 俊雄

川柳

オンライシ札の温か味を知らず 中村 尚治

茄子の艶ふと絵心が湧いてくる 西条 ムラ

たっぷりとごころ寝が出来る翌朝 野内熊太郎

艶っぽい話でもたす下戸の口 早川 英男

斜めに載せる知性のベレー帽 山岡 フミ

ふり向けば実年過去は七曲り 吉川 彰

アドバイス聞き流して馬の耳 吉川 末吉

土下座して当選肩で風を切る 米野 光雄

辛口の上司にあつた人間味 渡辺 ミヨ

実年の進路を測る羅針盤 今井 七郎

人生を斜めに見てる離婚歴 今井 タエ

愛称で呼ばれ実年照れている 織田 セツ

マスコミのペンが疑惑の謎を解き 後藤マサノ

辛口の顔も割り込む洋酒棚 佐藤トミノ

玉音が歯止めとなった終戦日 佐藤 ヨキ

三百席取ってホットな言を吐き 高橋祐四雄

お中元斜めに値踏みする上司 竹石 甚五

これほどの傑作はなし日本晴れ 田中 成子

観光車今年も馴染みの顔で揺れ 田村 恒夫

スポットを浴びて凡夫の口湯く 長井 徳市

短歌

萌え生ずる若菜疾風に従いて 大屋根を覆ふ椿たくまし 中村 京

飛騨高山の禁漁区と宮川の 鯉の肥りて清流をのぼる 小林キミイ